

茶道を題材とした企業・団体研修のご提案



茶の湯はCSの原点

竹松成仙茶道教室

温故知新

〔茶道を題材とした企業・団体研修のご提案〕

以前は企業・団体研修といえば、プロフェッショナル化のための研修や、新人研修においても接遇などの実践的なものが主流でした。

しかし、近年においては組織内における諸問題も多くなり、個人のメンタルケアに主眼をおいた研修も増えてきました。

先の大震災においては「人との絆」の重要性が再認識されました。時代の変化とともに希薄になっていた人との関わりが見直されるきっかけになったように思います。

今後はさらに、職場においても、私生活においても、より良い人間関係を築くことが重要視されるものと思われまます。

茶道（茶の湯）とは、「おもてなし」や「良い人間関係」を学ぶ、日本古来の素晴らしい「伝統文化」です。

その一端に触れるだけでも、充分にその奥深さが体感できますし、「おもてなし」の意味も理解していただけます。

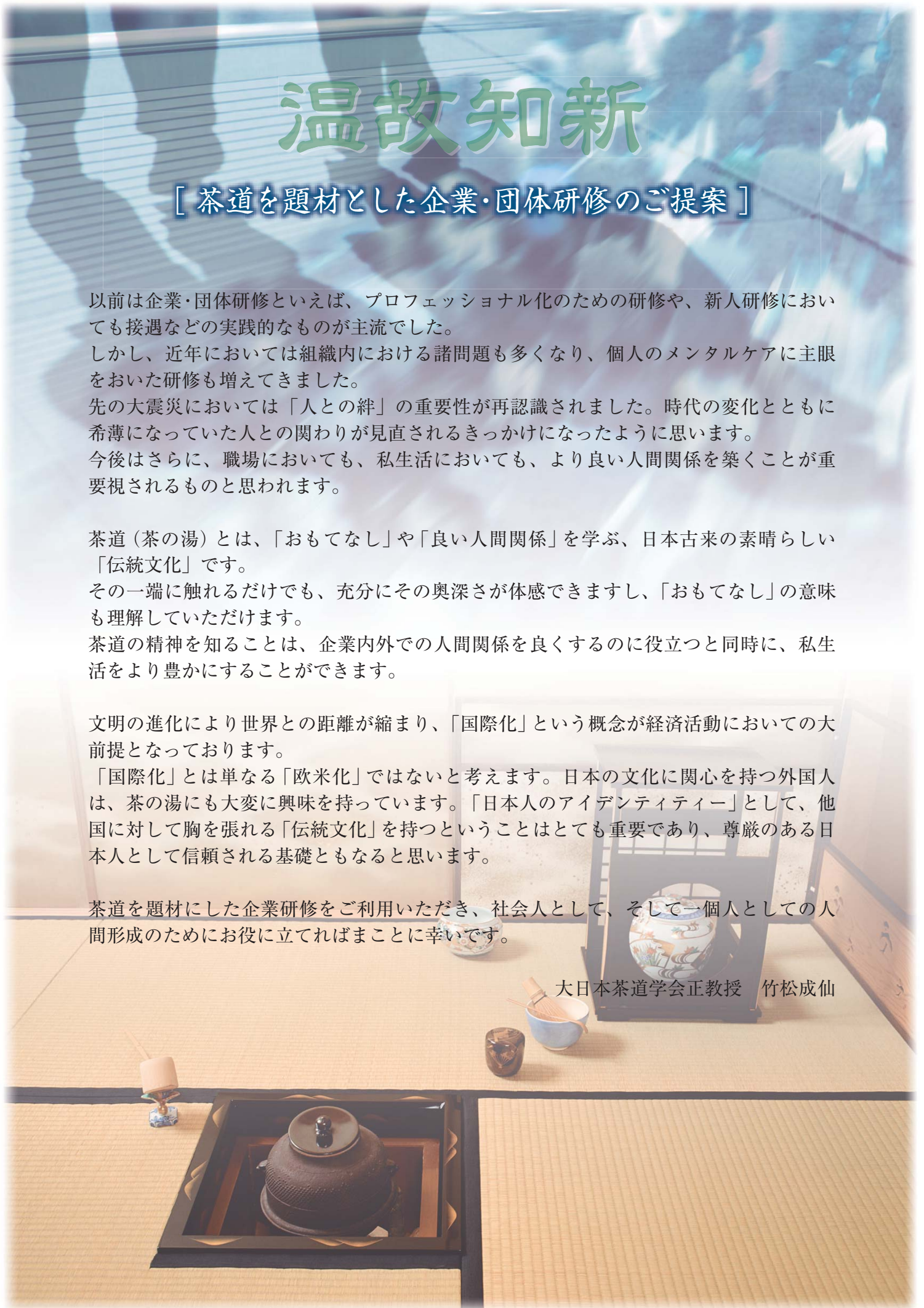
茶道の精神を知ることは、企業内外での人間関係を良くするのに役立つと同時に、私生活をより豊かにすることができます。

文明の進化により世界との距離が縮まり、「国際化」という概念が経済活動においての大前提となっております。

「国際化」とは単なる「欧米化」ではないと考えます。日本の文化に関心を持つ外国人は、茶の湯にも大変に興味を持っています。「日本人のアイデンティティー」として、他国に対して胸を張れる「伝統文化」を持つということはとても重要であり、尊厳のある日本人として信頼される基礎ともなると思います。

茶道を題材にした企業研修をご利用いただき、社会人として、そして一個人としての人間形成のためにお役に立てればまことに幸いです。

大日本茶道学会正教授 竹松成仙



茶の湯はCSの原点

本研修の特徴

- イメージしやすい、パワーポイントを用いた講義
- 自らの答えを導き出す、質疑応答とディスカッション
- “腑に落ちる”実際の茶道体験

主な研修内容

- 茶道の概略／茶道とは何か
- 茶道の歴史／茶の湯の始まり～現代まで
- 茶道で学ぶこと／おもてなしの心（茶の湯はCSの原点）
- 茶の湯の言葉から読み取れること／先人たちの知恵の結晶
- 実生活での役立て方／茶道の効用
- 茶道体験／お辞儀の仕方、お菓子とお茶のいただき方

竹松成仙

茶歴18年

大日本茶道学会正教授

大日本茶道学会本部教習温習科所属

自宅教場及びカルチャーセンター講座にて指導

小・中学校にて「茶道体験」実施

住宅展示場点茶の指導

大日本茶道学会伊那支部役員（庶務担当）

上伊那茶道連盟役員（会計担当）

その他の経歴

平成18年度伊那市立伊那小学校PTA会長

平成20年度上伊那郡PTA連合会会長、長野県PTA連合会副会長

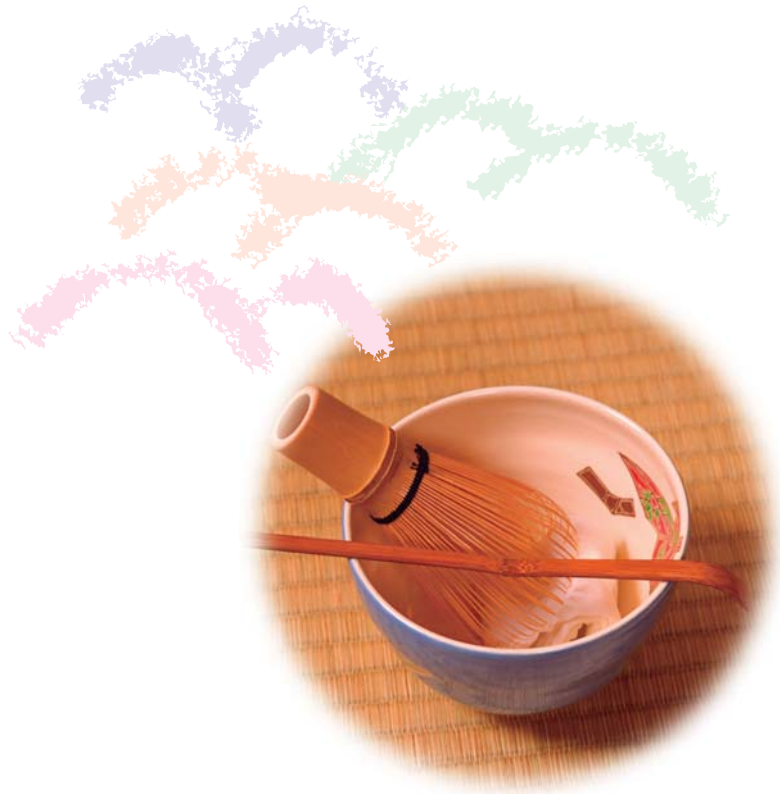
平成21年日本PTA連合会より全国表彰を受ける

その他の所属団体等

伊那混声合唱団団長

南信合唱連盟常任理事





竹松成仙茶道教室

主宰者：竹松成史

〒396-0023 長野県伊那市山寺3184

携帯 090-1829-0724 メール ffseiji@mint.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.tyanoyu.com/>